

CBBO型が土石流を捕捉

令和5年6月と9月に土石や流木を捕捉した事例のご紹介です。

発注者	国土交通省 多治見砂防事務所
工事名	中津川第10砂防堰堤（平成25年3月完成）
規 模	CBBO型 高さHs=12.5m 開口部幅B=20.0m 設計最大礫径D95=2.6m



令和5年6月、台風2号の影響により上流域で土砂崩落が発生。崩落によって流出した大量の土石と流木を中津川第10砂防堰堤が捕捉し、下流への被害を未然に防止しました。

2年前の令和3年8月豪雨で堤高の2/3が流木で閉塞した状態でしたが、今回は天端まで土石と流木を捕捉し満砂状態となっています。。

発注者	長野県 上田建設事務所
工事名	小別堂砂防堰堤（平成30年3月完成）
規模	透過部CBBO型 高さHs=9.5m 開口部幅B=7.0m 設計最大礫径D95=0.5m



令和5年9月16日、ゲリラ豪雨（≒88mm/h）により発生した土石流を砂防堰堤が捕捉しました。捕捉した土砂は約4,000m³。土石流の流下を防いだことで、下流の県道などへの被害軽減に貢献しました。堆積土砂は近日中に除石される予定。